

子牛“チビ”とのふれあいを綴る



羽月西小学校3年生の楠八重哉斗さんが市長を訪問し、「第63回動物愛護の作文コンテスト」で入賞したことを報告しました。

楠八重さんは「夏休みに、おじさんが飼っている子牛の“チビ”をお世話した体験を通して、思ったことをそのまま作文に書きました。賞をもらえてうれしかったです」と笑顔で話しました。

祝 おめでとうございます

県知事表彰



令和4年度河川愛護運動の優良団体として県知事から表彰されました。

受賞団体（左から）

- ・上木ノ氏自治会
- ・木ノ氏自治会
- ・一ノ渡瀬自治会

認知症について学ぼう！



伊佐農林高校で認知症サポーター養成講座が行われ、お笑い芸人の仮屋竹洋さん（吉本興業所属）が講師を務めました。

講座では、認知症と物忘れの違いや、認知症の人との接し方などを説明。生徒たちはワークショップでより具体的に、認知症との向き合い方を学びました。

仮屋さんは「周りの人が認知症を正しく理解することが大切。温かく見守る姿勢を忘れないで」とアドバイスしました。

忠元公の生涯を演じ切る



伊佐市文化会館にて現代版組踊「鬼武蔵～TADAMOTO 忠元」の公演が行われ、約800人の心を惹きつけました。

本公演は戦国武将・新納忠元公の生涯を描くストーリー。沖縄伝統の組踊を基に、歌・ダンス・バンド音楽など、現代風のアレンジを加えた舞台で、今回が5回目。

伊佐市の子どもたちでつくる「チームちむどん」による圧巻のパフォーマンスに、会場からは大きな拍手が送られました。

色とりどりのお餅がきれいだね

大口東小学校でメノモチ作りが行われました。児童たちは五穀豊穡と無病息災を願い、紅白や緑・黄色の鮮やかな餅を枝に飾り付けました。

メノモチとは、小正月の伝統行事「穂垂れ引き」の飾りのことをいいます。餅を準備したJA北さつま女性部グループ「SHARA」の岩城詠子部長は「これからも子どもたちに郷土料理の伝承や食育などの活動を続けていきたい」と話しました。





SLAMDUNK に熱狂



1/22

伊佐市文化会館にて、伊佐市出身の漫画家・井上雄彦さん原作・監督の映画「THE FIRST SLAMDUNK」が上映され、約 800 人が鑑賞しました。

この特別上映会は、大口小学校創立 150 周年記念事業の一環で、実行委員会のみなさんのご尽力により実現しました。

友達同士で鑑賞した大口小 3 年生のグループは「最後のシーンは迫力があっておもしろかった」「チームワークの大切さを感じた」と、映画の余韻を楽しんでいました。

思いやりの気持ちを育む



12/16

平出水小学校で「人権の花」運動閉会式が行われ、さまざまな取組に対して鹿児島地方務局霧島支局から感謝状が贈呈されました。

サプライズで人権イメージキャラクターの人KENまもる君・人KENあゆみちゃんが登場し、児童たちは大喜び。

児童代表あいさつで平出水恵大さん(6年)は「ぼくは今年度で卒業しますが、この平出水小学校がいつまでも差別がなく、困った人がいたら助け合える学校であり続けてほしいです」と話しました。

バリアフリーで選手を応援



菱刈カヌー競技場で練習するパラカヌー選手を応援しようと、カヌー競技場に隣接する「鶴屋旅館」がリフォーム工事を行い、選手を受け入れています。一部県の補助金を使用し、スロープの設置や浴室・洗面室の改修などバリアフリー化しました。

小松沙季選手は「車椅子だと、ちょっとした段差やスペースに窮屈さを感じるがあります。完全バリアフリーの宿舎は、競技に集中できるのでとてもありがたいです。3月末の海外派遣選手選考会に向けてしっかり練習を頑張ります」と話しました。

最後まで全力で走り抜きます！



1/14

大口元気こころ館で「第 36 回地区対抗女子駅伝」と「第 70 回県下一周市郡対抗駅伝競走大会」に出場する伊佐選手団結団式が開催されました。

選手を代表して岩切煌世さんと山脇美海さんが「感謝と、誇りの気持ちを持ってピンクのたすきをつなぐ」と選手宣誓し、全力で走り抜くことを誓いました。女子駅伝は 1 月 29 日、県下一周駅伝は 2 月 18 ~ 22 日に開催されます。

沿道で応援する際は、マスク着用など感染症対策をお願いします。